

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	補聴器・人工内耳 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 水曜2限	教室名	4校舎301教室
担 当 教 員	矢部洋子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
人工内耳を中心に、人工聴覚器の役割・機能・フィッティング方法、評価方法、装用指導法を聴覚医学、音響学、聴能学などに基づいて学び、言語聴覚士としての技量を習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚学:聴覚障害学第3版(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
教科書の該当項目は読んでおくこと						
《履修に当たっての留意点》						
人工内耳は年々進歩しています。まずは基本的な構造や仕組みについての理解を深めてから新しい技術を学びましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の原理、構造を知る	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	人工内耳システムの種類と構成、原理について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の適応、言語聴覚士の役割について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	適応ガイドライン、禁忌事項、施設基準、STの役割について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳の適合・調整について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	マッピングの手法、コード化法、T/Cレベル、ダイナミックレンジなどマッピングに必要な用語について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工内耳装用効果の評価について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	装用閾値、Ling6などの評価法について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の人工内耳機器について理解する(1)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む	
		各コマにおける授業予定	日本コクレア社による最新の人工内耳システムについての講義			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	最新の人工内耳機器について理解する(2)	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	日本コクレア社による最新の人工内耳システムについての講義		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	その他の人工聴覚補償機器、今後の動向について理解する	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	テキストの該当箇所を読む
		各コマにおける授業予定	人工中耳、聴性脳幹インプラント、補聴援助システムについて		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでのまとめを行い知識を整理できる	PC、プロジェクター、配布資料、テキスト	第1回から第7回までの講義資料の復習
		各コマにおける授業予定	総復習、小テストなど		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			